

伊東市立南小学校長 杉本 博昭

夏休みが終わり2学期が始まりました。夏休みに入る前は天候が不順で雨天の日も多かったのですが、7月下旬からお盆明けまで暑い日が続きました。

始業式では子どもたちの元気な笑顔が見られ、また大きな事故や事件の報告が無く安心しました。2学期は学習にもその他の活動にもよい季節です。6年生は修学旅行、5年生は自然教室と宿泊を伴った大きな行事や各種スポーツ関係の大会も予定されています。各行事に主体的に取り組み、自己の成長に繋げてほしいと思います。

始業式の話のなかで、子どもたちに「授業をがんばってほしい」と話をしました。新しい学習指導要領の全面実施が来年に迫り、学校ではこれからの授業で目指す「主体的・対話的で深い学び」の具現化を図っております。特に子ども同士の意見交換や自分の考えを友達に分かり易いように説明すること等の育成を通して、目標に迫れるよう研修を重ねております。

子どもたちには、友達の意見や発表をよく聞き、自分の意見を分かり易く発表して、授業に積極的に参加することを大切にしてほしいということをお話しました。一人一人の子どものがんばりを大いに期待しています。

さて、1学期の終業式の日「よろこびの像」の修復除幕式を行いました。この像は南小開校間もない昭和46年度卒業生の卒業記念として学校に寄贈されたものです。児童用玄関の外に置かれていましたので長年の風雨で痛みがひどく、PTAの協力で修復をいたしました。像の新しい台座は本校卒業生の山梨昌司氏より寄贈をうけました。ありがとうございました。

今学期も子どもたちのよりよい成長を願い、職員一同尽力いたしますので、保護者及び地域の皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



## 着衣泳を実施しました

1学期の7月17日(水)に、6年生が着衣泳を行いました。服を着たままの状態では海や川などに落ちた時に、どう対処すればよいかを学びました。水着だけの時とは違い、服を着た状態だと泳ぎにくく、泳ぐことで体力も失ってしまいます。川岸などから落ちた時はすぐに向き直って岸に戻ることや、海などに落ちた時は慌てず浮いて救助を待つことなどを実際に体験しました。服に空気を入れたり、ペットボトルを抱いたりすることで長く浮いていられる体験や、水中で服を脱ぐことはとても大変なことも経験し、もしものときに自分の命を守ることを学びました。



キ リ ト リ

学校だより9月号や学校に対するご意見・ご要望等がありましたらお書きください。

( )年( )組 お名前( )